

議第94号

令和7年度 下呂市水道事業会計補正予算（第1号）

第1条 令和7年度下呂市水道事業会計の補正予算（第1号）は、次に定めるところによる。

第2条 令和7年度下呂市水道事業会計予算（以下「予算」という。）第4条本文括弧書き中「資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額165,528千円は、当年度及び過年度の損益勘定留保資金126,305千円及び消費税資本的収支調整額39,223千円で補てんするものとする。」を、「資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額167,473千円は、当年度及び過年度の損益勘定留保資金128,029千円及び消費税資本的収支調整額39,444千円で補てんするものとする。」に改め、資本的収入及び支出の予定額を次のとおり補正する。

		収	入	
	(科目)	(既決予定額)	(補正予定額)	(計)
第1款	資本的収入	570,654 千円	493 千円	571,147 千円
第2項	負担金	52,762 千円	493 千円	53,255 千円
		支	出	
	(科目)	(既決予定額)	(補正予定額)	(計)
第1款	資本的支出	736,182 千円	2,438 千円	738,620 千円
第1項	建設改良費	422,177 千円	2,438 千円	424,615 千円

(債務負担行為)

第3条 予算第5条本文中債務負担行為をすることができる事項、期間及び限度額を次のとおり補正する。

追加

事 項	期 間	限度額
東上田管路耐震化事業（委託）	令和8年度から 令和11年度まで	49,829千円
東上田管路耐震化事業（工事）	令和8年度から 令和11年度まで	616,550千円

令和7年9月2日提出

下呂市長 山 内 登

令和7年度 下呂市水道事業会計補正予算実施計画

資 本 的 収 入 及 び 支 出

収 入

(単位:千円)

款	項	目	既 決 予 定 額	補 正 予 定 額	計	備 考
1. 資 本 的 収 入			570,654	493	571,147	
	2. 負 担 金		52,762	493	53,255	
		1. 負 担 金	52,762	493	53,255	

支 出

(単位:千円)

款	項	目	既 決 予 定 額	補 正 予 定 額	計	備 考
1. 資 本 的 支 出			736,182	2,438	738,620	
	1. 建 設 改 良 費		422,177	2,438	424,615	
		1. 改 良 費	400,527	2,438	402,965	

令和7年度 下呂市水道事業予定キャッシュ・フロー計算書
(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

(単位:千円)

I 業務活動によるキャッシュ・フロー:

当年度純利益	△ 515,296
減価償却費	535,699
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△ 80
賞与引当金の増減額(△は減少)	353
長期前受金戻入額	△ 177,872
受取利息及び受取配当金	△ 576
支払利息	32,029
資産減耗費	12,564
未収金の増減額(△は増加)	20,400
たな卸資産の増減額(△は増加)	15
未払金の増減額(△は減少)	400,713
小計	307,949
利息及び配当金の受取額	576
利息の支払額	△ 32,029
業務活動によるキャッシュ・フロー	276,496

II 投資活動によるキャッシュ・フロー:

有形固定資産の取得による支出	△ 196,656
工事負担金の受入による収入	53,255
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 143,401

III 財務活動によるキャッシュ・フロー:

建設改良等の財源に充てるための企業債による収入	302,600
建設改良等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 289,005
他会計からの出資による収入	215,292
財務活動によるキャッシュ・フロー	228,887

IV 資金増加(減少)額 361,982

V 資金期首残高 826,382

VI 資金期末残高 1,188,364

令和7年度 下呂市水道事業予定貸借対照表
(令和8年3月31日)

単位:千円

	資 産 の 部		
1. 固 定 資 産			
(1) 有形固定資産			
イ 土地		514,220	
ロ 建物	572,556		
減価償却累計額	<u>△ 189,806</u>	382,750	
ハ 構築物	11,688,349		
減価償却累計額	<u>△ 4,548,182</u>	7,140,167	
ニ 機械及び装置	2,596,409		
減価償却累計額	<u>△ 1,539,615</u>	1,056,794	
ホ 車両運搬具	25,416		
減価償却累計額	<u>△ 2,897</u>	22,519	
ヘ 工具器具及び備品	51,865		
減価償却累計額	<u>△ 45,515</u>	6,350	
ト 建設仮勘定		235,274	
有形固定資産合計			9,358,074
(2) 無形固定資産			
イ 電話加入権		41	
無形固定資産合計			<u>41</u>
固定資産合計			9,358,115
2. 流 動 資 産			
(1) 現金預金		1,188,364	
(2) 未収金		20,491	
(3) 貸倒引当金		△ 1,542	
(4) 貯蔵品		9,267	
(5) その他流動資産		<u>5,000</u>	
流動資産合計			<u>1,221,580</u>
資産合計			<u>10,579,695</u>

負 債 の 部

3. 固 定 負 債				
(1) 企業債				
イ 建設改良費等の財源に 充てるための企業債			2,366,876	
固定負債合計				2,366,876
4. 流 動 負 債				
(1) 企業債				
イ 建設改良費等の財源に 充てるための企業債			289,015	
(2) 未払金			341,849	
(3) 引当金				
イ 賞与引当金			4,031	
ロ 法定福利引当金			766	
(4) その他流動負債			5,000	
流動負債合計				640,661
5. 繰 延 収 益				
(1) 長期前受金				
イ 国庫補助金	793,628			
ロ 工事負担金	954,626			
ハ 受贈財産評価額	928,583			
ニ 県補助金	1,925,291			
長期前受金合計			4,602,128	
(2) 長期前受金収益化累計額				
イ 国庫補助金	△ 418,400			
ロ 工事負担金	△ 414,622			
ハ 受贈財産評価額	△ 242,727			
ニ 県補助金	△ 602,730			
長期前受金収益化累計額合計			△ 1,678,479	
繰延収益合計				2,923,649
負債合計				5,931,186

資 本 の 部

6. 資 本 金				6,705,572
7. 剰 余 金				
(1) 資本剰余金				
イ 受贈財産評価額	14,809			
資本剰余金合計			14,809	
(2) 利益剰余金				
イ 減債積立金	80,686			
ロ 建設改良積立金	52,561			
ハ 当年度未処分利益剰余金	△ 2,205,119			
利益剰余金合計			△ 2,071,872	
剰余金合計				△ 2,057,063
資本合計				4,648,509
負債資本合計				10,579,695

令和7年度 下呂市水道事業会計に関する注記表

● 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 固定資産の減価償却の方法

- (1) 有形固定資産
定額法を採用している。
なお、主な資産の耐用年数は以下のとおり。
- | | |
|----------|--------|
| 建物 | 16～60年 |
| 構築物 | 5～60年 |
| 機械及び装置 | 6～20年 |
| 車両及び運搬具 | 4～ 5年 |
| 工具器具及び備品 | 5～15年 |

- (2) 無形固定資産
定額法を採用している。

2. 重要なリース取引の処理方法

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

3. 引当金の計上基準

- (1) 貸倒引当金
・債権の貸し倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、破産更生債権等については個別に回収の可能性を勘案し、回収不能見込み額を計上している。
- (2) 退職給付引当金
・岐阜県市町村職員退職手当組合に支払う負担金については、毎事業年度支払う一定の負担金(一般負担金)のみを公営企業が負担しており、積立金の不足等に応じて発生する。
・追加的な費用負担(収支差額の調整のために支払う負担金、組合脱退時の清算金等を含む)をすべて一般会計が負担することとしているため、退職給付引当金は計上していない。
- (3) 賞与引当金、法定福利費引当金
・職員の期末手当・勤勉手当、及びそれらに係る共済費の支給に備えるため、当事業年度末における支給見込額に基づき、当事業年度の負担に属する額を計上している。

4. 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっている。

● 予定貸借対照表に関する注記

- ・貸借対照表に計上されている企業債(当該事業年度の末日の翌日から起算して1年以内に償還予定のものも含む)のうち、他会計が負担すると見込まれる額は981,515千円である。

● セグメント情報に関する注記

1. 下呂市水道事業では、水道事業及び簡易水道事業を運営していることから、水道事業及び簡易水道事業の2つを報告セグメントとしている。
・各報告セグメントの事業の内容は以下のとおりである。

セグメント区分	事業の内容
水道事業	簡易水道事業以外の地区において水道水を供給する業務
簡易水道事業	萩原、小坂、下呂(一部)、金山、馬瀬地区の各地域において水道水を供給する業務

2. 報告セグメントごとの営業収益等

- ・当年度(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

	水道事業	簡易水道事業	(単位 千円) 合 計
営業収益	217,125	341,355	558,480
営業費用	313,031	931,513	1,244,544
営業損益	△ 95,906	△ 590,158	△ 686,064
経常損益	△ 86,431	△ 428,865	△ 515,296
セグメント資産	3,220,962	7,358,733	10,579,695
セグメント負債	150,557	490,104	640,661
その他の項目			
他会計繰入金(基準内)		115,469	115,469
減価償却費	123,794	411,905	535,699
固定資産増加額	22,301	68,240	90,541

● その他の注記

1. 賞与引当金の目的使用による取崩について

- ・当事業年度において、夏季分の期末手当・勤勉手当及びそれに伴う法定福利費として7,194千円を支給するため、賞与引当金3,711千円、法定福利費引当金733千円を取り崩す。

令和7年度 下呂市水道事業実施計画明細書

資 本 的 収 入 及 び 支 出

収 入 (単位:千円)

款	項	目	既 決 予 定 額	補 正 予 定 額	計	勘 定 科 目 説 明		
						節	金 額	附 記
1.	資 本 的 収 入		570,654 (42)	493 (0)	571,147 (42)			
	2.	負 担 金	52,762 (42)	493 (0)	53,255 (42)			
		1. 負 担 金	52,762 (42)	493 (0)	53,255 (42)	負 担 金	493	その他〔不課税〕(簡水) 493

()内は仮受消費税

支 出 (単位:千円)

款	項	目	既 決 予 定 額	補 正 予 定 額	計	勘 定 科 目 説 明		
						節	金 額	附 記
1.	資 本 的 支 出		736,182 (38,358)	2,438 (221)	738,620 (38,579)			
	1.	建 設 改 良 費	422,177 (38,358)	2,438 (221)	424,615 (38,579)			
		1. 改 良 費	400,527 (36,408)	2,438 (221)	402,965 (36,629)	工 事 請 負 費	2,438	萩原町羽根地区ほ場整備工事に伴う 水道管移設工事 2,438

()内は仮払消費税

債 務 負 担 行 為 に 関 す る 調 書

(当該年度分)

(単位:千円)

事 項	限度額	前年度末までの支払 義務発生(見込)額		当該年度以降の支払 義務発生予定額		左 の 財 源 内 訳		
		期 間	金 額	期 間	金 額	国庫補助金	企業債	損益勘定 留保資金
東上田管路耐震化事業(委託)	49,829	-	-	令和8年度 から 令和11年度	49,829	11,190	38,600	39
東上田管路耐震化事業(工事)	616,550	-	-	令和8年度 から 令和11年度	616,550	144,361	472,100	89